

〈第9期〉 す こ ら

じんけん SCHOLA

～ JR 大阪駅前で『人権知』を学ぶ～

(大阪駅前第2ビル 6階)

◆ シンポジウム 「道徳」で実践する人権教育

8月25日(土) 13:30-17:00 ホール ☆受講会費 1,500円

春川 政信 (三木市人権・同和教育協議会)、富田 稔 (天理大学)

*司会: 上杉 聰 (じんけん SCHOLA 共同代表)

「道徳」が「特別の教科」となって始まりました。さまざまな問題を内包しながら、全国の小学校で文科省の検定済み教科書の教材を用いる授業が行われています。学校現場では何が問題になっているのか、その問題をどのように改善していくのか、「道徳」の教科書を用いながら「人権の視点」で「考える」「議論する」授業をどのように構築していくのか…。具体的な実践例にも触れながら、人権の視点からの道徳教材の分析と実践方法について今年も提起していきます。現場の声にも耳を傾け、人権教育のピンチをチャンスにしていける建設的な論議の場にしたいと考えます。

◆ 光と影のフィールドワーク 兵庫(たつの)・大阪・東京

*参加者はじんけん SCHOLA のホームページに掲載の「人権フィールドワーク原論」を必ず読んでご準備ください。

1 兵庫(たつの) 9月8日(土) 10:00-17:00 *参加費 5,000円(工場見学代、バスチャーター代含む)

たつの市内の皮革工場と被差別部落のフィールドワークを行い、朝鮮通信使ゆかりの室津を訪れます。

*定員 40名。JR 網干駅集合、JR 姫路駅解散。広範囲のためバスで移動します。

*お弁当を持参ください。現地でお弁当(1,000円)を希望される方は事前にお申し出ください。

2 大阪 11月3日(土) 10:00-17:00 *参加費 2,500円(学生・院生 1,000円)

旧渡辺村・旧非人村跡・釜ヶ崎・飛田遊郭跡など、その変容する姿を歴史のプリズムでとらえます。

*定員 30名。あべのハルカス前歩道橋集合。「飛田学事始め」または「部落史講座」(K講座) 1回以上の受講が必須。

3 東京 11月24日(土) 10:00-17:00 *参加費 2,500円(学生・院生 1,000円)

旧弾左衛門団内(屋敷地)・山谷・旧吉原・小塚原刑場・非人村跡など、江戸の民衆世界へのタイムトンネルを歩きます。

*定員 30名。浅草寺雷門集合。「部落史講座」(K講座) 1回以上の受講が必須。

A 人権とはなにか? — 哲学の視点から —

大セミナー室

土屋 貴志 (大阪市立大学)

「人権」とはそもそもどういうものなのでしょうか? 「人権」を掲げなければ差別とたたかえないのでしょうか? 「人権」を掲げさえすれば、どんな差別ともたたかえるのでしょうか? 「人権」が「人の権利」だとしたら、「権利」とはいったいなんなのでしょうか? また、小中学校で教えられる「特別の教科 道徳」と、「人権」および人権教育との関係を、どう考えたらいいのでしょうか? わたしたちが当たり前のように使っている「人権」について、哲学の視点から、あらためて考えてみます。

1 人権と「道徳」～日本国公認学校道徳教育と人権教育～

8月18日(土) 13:00-15:00

2 お互いの人権を侵害しないという約束～社会契約～

9月1日(土) 13:00-15:00

3 国とはなにか～憲法の役割～

9月22日(土) 13:00-15:00

会場: 大阪市立大学 文化交流センター (大阪駅前第2ビル 6階)

じんけん SCHOLA

検索

<http://j-schola.net/>

B 道徳教科書 / もうひとつの指導案

大セミナー室

相可 文代 (人権を大切にする道徳教育研究会)

8月18日(土) 15:30-17:30

「特別の教科 道徳」が始まりました。教科書は22の内容項目(「自由と責任」「公共の精神」「国や郷土を愛する態度」などの徳目)にもとづいて編集されています。この教科書を使い、内容項目を唯一の「ねらい」とする授業をしていけば、子どもたちは知らず知らずのうちに、偏った考えに陥ってしまうことが懸念されます。その結果、「いじめ」や「差別」を助長することにもなりかねません。私たちは、このような状況を少しでも改善するために「道徳教科書/もうひとつの指導案」をWebサイトで提供することにしました。教科書を使いながら、子どもたちへの悪影響を最小限にとどめる方法をいっしょに考えたいと思います。

C セクシュアル・マイノリティについて

大セミナー室

宮前 千雅子 (関西大学)

人はそれぞれ自分自身の「性」を生きており、セクシュアル・マイノリティである人にとっても同様です。にもかかわらず、彼ら/彼女らが社会で生きづらさを抱えるのはなぜなのでしょう? その理由を考え、ともに課題解決のためにできることを考えていきます。またその課題を個別的にとらえる視点と、広く普遍的にみていく視点、その双方からとらえることができるよう、みなさんと話し合っていきたいと思います。

1 セクシュアル・マイノリティについて

10月6日(土) 10:00-12:00

2 ゲストスピーカーの声から学ぶ

10月20日(土) 10:00-12:00

D 飛田学事始めー歴史から考える

大セミナー室

宮前 千雅子 (関西大学)

10月13日(土) 13:00-15:00

飛田遊廓は、近代になり大阪府の認可のもと設立された遊廓です。その前史である難波新地の歴史も踏まえ、新たな土地に建設された飛田遊廓の歴史をみていきます。近代以降大阪に存在し続けている飛田新地が性売買の象徴となる経緯を明らかにし、日本社会の性秩序や性規範における男女の違いが、どのようなかたちで女性たちに影響を及ぼしているのかをともに考えていきます。

E ヘイト / 排外主義の現在とその克服に向けて

大セミナー室

——「民族差別」と「部落差別」の2つの視点から——

1 民族的ヘイトスピーチの現状を分析する

10月6日(土) 13:00-15:00

文 公 輝 <ムン・ゴンフィ> (多民族共生人権教育センター)

ヘイトスピーチ解消法の施行後、地方自治体での条例制定にむけた動きが相次ぐなど、一定の効果が現れています。しかし街頭宣伝、デモ行進、ネット投稿の形でおこなわれるヘイトスピーチは跡を絶たず、政治活動の形を借りた差別扇動が拡大しています。人種主義的ヘイトスピーチの現状と課題を考えます。

2 悪質化する部落への差別的攻撃の実態

10月6日(土) 15:30-17:30

川口 泰司 (一般社団法人 山口県人権啓発センター)

「部落差別解消推進法」成立の背景には、ネット上での部落差別の悪質化・深刻化があります。爆発的に拡散され続けるデマや偏見。新たな「部落地名総鑑」「部落出身リスト」が作成され、ネット公開され、様々な被害が起きています。ネット社会における部落差別の現実とネット対策、今後の課題について考えます。

3 ヘイト / 排外主義を根底から超え克服するために

10月20日(土) 13:00-15:00

文 公 輝 × 川口 泰司 (司会・上杉 聡)

1970年代以降、反差別運動の高揚によってハードとソフトの面での差別が劇的に改善されてきました。ところが、その成果を帳消しにするかのように、ヘイト/排外主義が激化しています。過去の運動の歴史に学びつつ、どう現状を乗り越えるのか。部落解放運動、民族差別撤廃運動に長年とりこんできた2人の討議を通して考えます。

F 障害者問題から市民社会のあり方を問う (その2)

大セミナー室

姜 博 久 <カン・バック> (NPOスクラム)、藤原 久美子 (神戸 Be すけっと)、寺田 さち子 (神経筋疾患ネットワーク)、矢野 恵子 (障害者グループ「あやかぜ」)、堀 智晴 (インクルーシブ (共生) 教育研究所)

昨年は、津久井やまゆり園の事件と優生思想、出生前診断の厳しい現状、分離別学へ向かう特別支援教育などについて、受講者参加型で活発な意見交換を行うことができました。障害者権利条約のめざす共生社会の実現という理念に向かっているとは到底言えない現状を見据え、今年も同じテーマについて参加者で考え深めたいと考えます。とくに今注目されている「強制不妊手術」の問題は重い問題です。障害者問題の解決には、医学的モデルから社会モデルへの転換が不可欠です。社会のあり方と市民の意識改革が問われています。障害者問題について考えたいという市民の方、ぜひご参加ください!!

1 強制不妊手術とは一何があったのか (寺田、矢野)

10月27日(土) 15:30-17:30

2 強制不妊手術から現在の出生前診断、複合差別を考える (藤原、寺田、矢野)

11月10日(土) 15:30-17:30

3 インクルーシブ教育の現状について考える (姜)

12月1日(土) 15:30-17:30

4 市民社会のあり方を考える～討議を中心に～ (堀)

12月8日(土) 15:30-17:30

G 朝鮮戦争、再考

大セミナー室

朴一<パク・イル> (大阪市立大学、じんけん SCHOLA 共同代表)

8月17日(金) 18:00-20:00

今年4月、歴史的な南北首脳会談が実現し、朝鮮戦争の休戦協定を停戦協定へ転換させるため、板門店宣言を表明しました。そもそも米国、中国、ソ連も参戦し国際内戦へと発展した朝鮮戦争は、なぜ起こり、どのような惨劇をもたらした、今日まで休戦のまま、朝鮮半島の緊張を存続させてきたのでしょうか。本講座では、こうした朝鮮戦争の起源に迫りながら、板門店宣言の現代的意義について考えてみたいと思います。

H 「国勢調査をはじめとする官庁統計データ」を使って大阪市内の人権問題に迫る

大セミナー室

島和博 (大阪市立大学)

9月22日(土) 15:30-17:30

国勢調査をはじめとする官庁統計データから、都市大阪における「社会問題空間」の現状を明らかにすることを試みます。「社会問題空間」とは、さまざまな要因によって困難な生活状況を強いられている人々の(密集)居住地域を意味しています。その中に包み込まれるようにして、そしてその中心(コア)部分に、被差別部落も存在しています。今日の被差別部落のかかえている問題を、その「外」の問題との連続性という視点からとらえなおして「データを読む」ならば、どのような「部落問題」の現実がみえてくるのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

I はじめてみよう！これからの部落問題学習

大セミナー室

石元 清英 (関西大学)

部落問題をどのように教えればいいのかわからないという戸惑いが教育現場で広がっています。一昨年に施行された「部落差別解消推進法」において部落差別を解消するための教育の実施が課題のひとつとされたことから、こうした傾向はさらに強くなっているようです。本講座では、昨年度の講座の内容に、最新の事態調査・意識調査の結果や映像資料などを加えて、これからの部落問題学習の内容とその進め方について考えます。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1 なぜ若者は部落に対してマイナスイメージをもってしまうのか | 11月10日(土) 13:00-15:00 |
| 2 自分のことばで部落問題を語るために～「差別語」問題を整理する | 12月1日(土) 13:00-15:00 |
| 3 部落はどう変化したのか～部落の現在(いま)をどう教えるのか | 12月8日(土) 13:00-15:00 |
| 4 部落に対する誤解や偏見を批判する力を獲得する教育とは | 12月22日(土) 13:00-15:00 |

J 皮革(かわ)の歴史を読みなおす

大セミナー室

林久良(皮革史研究家)+上杉 聡(じんけん SCHOLA 共同代表)

10月27日(土) 13:00-15:00

牛馬から採る皮については、部落の重要な産業であり、太鼓や雪駄・靴・ベルトなどの原材料として、私たちの生活を豊かにしてきたことが高く評価されてきました。しかし、皮からは、他に「にかわ」や「ゼラチン」「葉」などが生まれ、日本社会の文化を根底から支えてきた面もありますが、それらは、ほとんど語られてきませんでした。本講座では、皮のもつ広がりをとらえ返すことで、部落の歴史を読みなおすところへと踏み込みたいと思います。

*皮からにかわ(膠)などを取り出す工場作業の見学会を12月に予定しています。詳細は講座でお伝えします。

K 思索し、ともにひらく新しい部落史

大セミナー室

上杉 聡(じんけん SCHOLA 共同代表)

部落の通史『これでわかった！部落の歴史』『これでなっとく！部落の歴史』(解放出版社)の2冊は、これまでの古い部落史観を打ち砕き、DVD『映像でみる人権の歴史』の普及と相まって新たな視点による授業・啓発を広く生みだしてきました。しかし、社会全体が新しい部落史を本格的に共有するためには、より思索を深め、学問としての完成度を高める必要があります。本講座では、上記2冊の教科書を下敷きにしながら、現在執筆中の『思索する部落史』の内容を加え、授業実践と社会啓発の新しい地平をめざします。

中近世(全5回) 8月25日(土)、9月1日(土)、22日(土)、29日(土)、10月13日(土) 10:00-12:00

教科書は『これでわかった！部落の歴史』(解放出版社)

近現代(全5回) 10月27日(土)、11月10日(土)、12月1日(土)、8日(土)、22日(土) 10:00-12:00

教科書は『これでなっとく！部落の歴史』(解放出版社)

L 部落史学習の新しい展開 DVD『人権の歴史』活用実践

大セミナー室

——「部落問題学習」の継続的実践へ向けて——

9月1日(土) 15:30-17:30

小・中学校での実践報告 *進行: 木村 直人(じんけん SCHOLA スタッフ)

☆資料代500円、受講会費は無料です。

DVD『シリーズ映像でみる人権の歴史』を使った教育実践講座です。部落問題学習・部落史学習は、「差別」や「いじめ」をなくしていくための、人権教育の要となる学習です。しかしそれを実践するための教育環境は、近年さまざまな面でより難しい状況になってきています。このDVDが提示する「映像の部落史」は子どもたちの「部落像」を具体的に豊かなものとし、学習の理解を無理なく深めてくれます。このDVDを活用する新しい部落問題学習の方法は、今日の難しい状況を打開する大きな手掛かりになるでしょう。学校現場での実践提案を受けて、独自の実践プランを考えてみませんか。

既巻DVD『シリーズ映像でみる人権の歴史』

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ■第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」 | ■第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々 |
| ■第3巻 近代医学の基礎を築いた人々 | ■第4巻 明治維新と賤民廃止令 |
| ■第5巻 渋染一揆を闘いぬいた人々 | ■第6巻 日本国憲法と部落差別 |

M 原発と人権

大セミナー室

伊藤 宏 (和歌山信愛女子短期大学)

1. 7年目の福島第一原発事故～「自力避難者」の今～

10月13日(土) 15:30-17:30

福島第一原発事故から7年が経過し、過去の出来事とされつつあります。事故の教訓とともに、未だに避難生活を余儀なくされている人々のことを忘れ去ったかのように、帰還政策や原発の再稼働などが進められているのが現状です。収束にほど遠い現場の状況、今後の廃炉作業の困難さを改めて検討しながら、「自力避難者」の皆さんが今、どのような状況に置かれているかを知り、原発とどのように向き合うかを考えたいと思います。

2. 原発報道の問題点～議論の材料は提示されているか～

10月20日(土) 15:30-17:30

事故やトラブルなどがある度に大きく報道される原発問題ですが、日常的にはほとんどお目にかからなくなりました。今、関西電力は使用済み核燃料の中間貯蔵施設の立地を迫られており、その候補地として紀伊半島の白浜が挙げられています。しかし、私たちはそれについて議論する材料を持ち合わせているのでしょうか。マスメディアの伝える情報、インターネットを通じて拡散する情報について吟味しつつ、原子力報道を検証します。

3. ゴジラから読み解く原子力～平和憲法と非核～

12月22日(土) 15:30-17:30

昨年度に引き続き、日本が生んだ怪獣ゴジラを素材に原子力について考えていきます。今回は1954年に公開された『ゴジラ』から一昨年に公開された『シン・ゴジラ』までのゴジラ映画を通じて、特に「平和憲法と非核」を中心に議論をしていきたいと思います。第1作『ゴジラ』が公開されたのは11月3日の「文化の日」でしたが、これは日本国憲法が公布された日でもありました。そこを出発点として、ゴジラ映画を見直していきます。

じんけん SCHOLA 会場へのアクセス



●大阪市立大学文化交流センター (大阪駅前第2ビル6階)

最寄り駅はJR東西線「北新地」駅
地下鉄「梅田」、「西梅田」、「東梅田」駅
阪急・阪神「梅田」駅、JR「大阪」駅

*文化交流センターには、「ホール」「大セミナー室」「小セミナー室」があります。どの教室を使用するかは、各講座案内に書いています。

受講会費: 1回1,500円 (事前振込に限りません)

- ・学生・院生は500円、高校生以下は無料。
- ・L講座は、一般も学生も500円(資料代)です。
- ・福島原発事故による避難者は無料です。

じんけん SCHOLA 受講申し込み方法

受講の申込は、別紙の申込用紙をファックスするか、メールをお送りください。受付は申込順となります。メールの場合は、受講を希望する講座名と、受講者の氏名、所属、電話番号、郵便物送付先を記入してください。

メールアドレス **jinken.schola@gmail.com**

申込後に、郵便振替またはゆうちょ銀行への振込で受講料をお支払いください(振込手数料はご負担ください)。入金をもって申込完了です。振込確認後、数日以内に受領書を郵送します。振り込み後の返金はいたしませんので、ご了承ください。他講座への振替受講は、申し込まれた講座の開講までにご連絡いただければ可能です。(開講後の振替は不可です)

郵便振替 00900-0-254830 市民のための人権大学院運営協議会

ゆうちょ銀行 店名四一八(店番418) 普通 口座番号: 1113880

主催: 市民のための人権大学院運営協議会

後援: 関西大学人権問題研究室、国際人権大学院大学(夜間)の実現をめざす大阪府民会議

市民のための人権大学院 運営協議会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学社会学部 石元清英研究室内

FAX 06-7878-6064 メール jinken.schola@gmail.com <http://j-schola.net/>

*当協議会へのご連絡は、メールまたはファックスをお願いします。(スタッフは常駐していません)